

令和2年度 社会福祉法人 誠真会 事業報告

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、面会制限や介護サービス利用等の制限を余儀なくされ、利用者・入居者の皆様、家族の皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配、ご不便、ご迷惑をおかけしているところですが、感染症予防対策にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

「グループホームながしま」では、例年参加していた地域行事が中止となり、入居者と保育園の子どもとの交流もできませんでした。厳しい環境の中、感染症対策として、各ユニット・ホールに空気清浄機を設置しました。また、オンラインでの面会や勉強会の実施、研修の受講ができるようにインターネットの環境整備を行いました。

介護保険事業については、業務面で佐藤病院グループ施設との連携強化を図りましたが、グループホームの稼働率は96.5%となり、前年比1.9ポイント低下しました。介護保険事業収入は前年比7百万円増加しましたが、そのうち6百万円は処遇改善加算の要件変更による増額分です。

介護職員の採用が困難な時代を迎え、本年度も介護職員確保のために手当を引上げております。当期利益は4百万円となりました。

次に、企業主導型保育事業である「キッズプラザながしま」について、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い4月に緊急事態宣言が発令、登園自粛の要請があり、保育所の利用率は大幅に低下しました。7月以降、徐々に児童数は回復したものの、保育事業料収入は前期比8百万円減少しました。

質の高い保育を安定的に供給していくために、職場環境を充実させ、保育職員の能力向上やキャリアアップを図るとともに、処遇改善加算による賃金の引上げを実施しました。

社会福祉法人全体では、事業収入は前期比減少し、減収減益となりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域交流イベントや地域行事等が開催できない状況が続き、十分な地域貢献活動ができないう1年となりました。

地域の課題として、健康維持管理、介護予防、生きがいづくり等、地域での支え合いの仕組みづくりがますます重要となっており、地域貢献活動に積極的に取り組み、地域福祉の発展に努めてまいります。

以上